

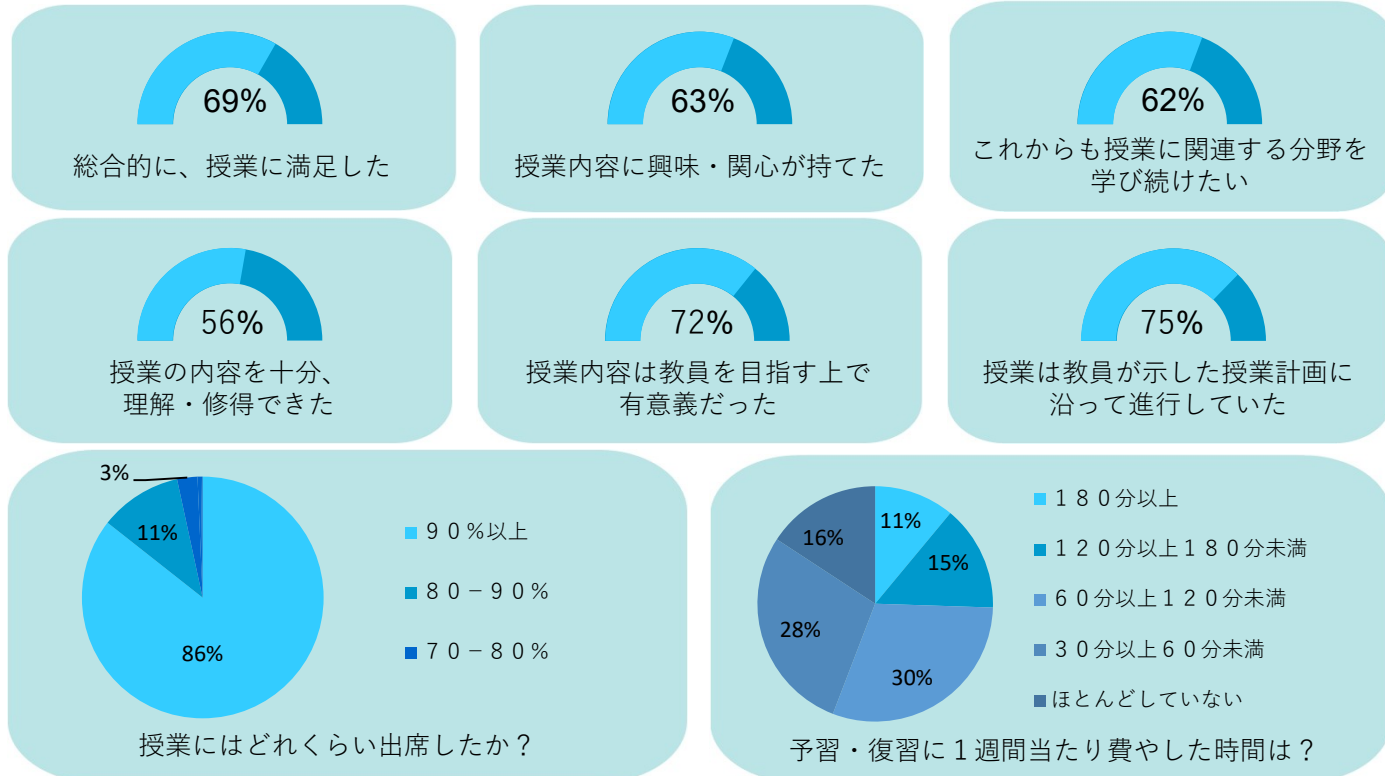
授業評価アンケートデータから考える 福岡教育大学 授業改善 (令和4年度前期)

授業は、学生の皆さんと授業担当教員の双方の努力と協力によって作り上げていくものです。福岡教育大学は、授業評価アンケートに基づき、授業方法・内容の改善を図り、学生の皆さんにとって、より良い学習環境につながるよう取り組みます！

授業評価アンケート結果

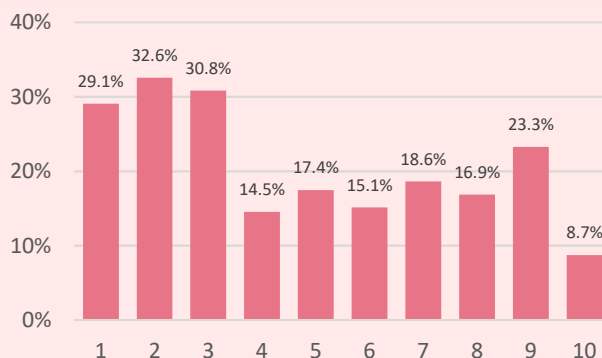
学生回答率 63.28%

※以下、回答者内の割合です。



教員の改善案

- 1 予復習の指示を明確にする
- 2 授業の進行速度を調整する
- 3 授業内容の難易度を調整する
- 4 授業目的を明確に伝える
- 5 成績評価の方法を明確に伝える
- 6 話す内容をわかりやすくするように工夫する
- 7 板書、情報提示の見やすさの改善
- 8 授業資料の配付の方法や内容を工夫する
- 9 講義内容の精選を行う
- 10 シラバスの改善



上記以外に…

- オフィスアワー等、質問を積極的に受け付ける
- 演習課題の内容を検討し、充実させる
- 授業内での学生間の意見交換・交流の活性化を目指す

教員の自評

- 学生のモチベーションの高さ・向上心に答えるべく、さらなる授業の質向上に努めたい
- 遠隔授業において、教員の一方的な授業になる・長時間視聴によって学生が疲れる等の課題点を改善したい
- 学生の理解度を把握するよう努めたい
- ICTを利用した授業作りを積極的に行う

【ファカルティ・ディベロップメント】

“あまり聞きなれない”と思う方がまだ多いと思います。ファカルティ・ディベロップメントの始まりは米国で、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組みの総称」とされています。

【お問い合わせ】

福岡教育大学 教育支援課
 TEL : 0940-35-1287
 Email : kyouscho@fukuoka-edu.ac.jp
 URL : https://www.fukuoka-edu.ac.jp/